

高校

特別支援学校

愛知県立旭丘高校(笹尾幸夫校長)がこのほど、「国際バカロレア(IB)の趣旨を踏まえた教育の推進に関する調査研究」(平成24~26年度)と「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」(26年度~)に関する成果報告会を開催した。全人格的

愛知県立
旭丘高校

完成教育(全人教育)を教育方針に掲げる同校は県内有数の伝統校。本年度以降はIB研究の成果と課題をSGH事業に引き継ぎ、自ら学ぶ姿勢・態度や批判的思考力を兼ね備えた国際感覚豊かなグローバル・リーダーの育成を目指していく。

バカロレア研究の成果をSGHに生かす

「国際バカロレアのた授業を展開。授業で教科横断的な内容理解趣旨を踏まえた教育のは、マインドマップをを旨とした。推進に関する調査研活用して2千字程度の今春卒業した受講生究」において同校が取エッセーを書いたり、徒からは「すごく大変り組んだのは「TOK 討論・プレゼンテーション」だったけれど、国内の(Theory of Knowledge)の考えをアウトプットした」「考えることにつe)の趣旨を踏まえたする活動を多く取り入いて考えるのは面白いカリキュラムの研究開れ、言語技術の向上や 授業だった」「プレゼンテーション能力、論文作成能力など、多くのことを直接実感できた」と1年間の活動を振り返り、「この経験研究などによって国際感覚豊かなグローバルリーダーの育成に取り組んでいる。抱負を語った。

海外巡検通じ国際感覚
プレゼンや論文で表現力

グローバル人材に求められる力やゼミに参加しての感想について意見を交わすゼミ生たち

力、論文作成能力など、多くのことを直接実感できた」と1年間の活動を振り返り、「この経験研究などによって国際感覚豊かなグローバルリーダーの育成に取り組んでいる。抱負を語った。

同校では、本年度も台湾で海外巡検を実施する他、SGH指定校生との合同サマーゼミ生を募集。その中から論文選考などによって30人が選ばれ、毎週火曜日の放課後に行うゼミ形式の学習会や国内(大阪・東京)巡検、韓国でのフィールドワークに参加した。

旭丘高校 052・721・5651

批判的思考力を持つ
グローバル人材育成

12月に4泊5日で実施した韓国巡検では、同国内で7校しかない国際高校の一つ、高陽国際高校の生徒と交流。約2時間半に及んだ意見交換会では、「日韓の高校生意識調査」に基づく共通点や相違点、格差の拡大や少子高齢化問題、歴史認識など両国が抱える現実問題について、互いの見解の相違を理解した上で協力して解決していくための方策を話し合った。

報告会では、ゼミ生が「韓国の高校生の英語力の高さや英語で討論することの難しさ、日韓両国には歴史問題に対する認識の違いがある一方で共通する点も多いことなど、多くのことを直接実感できた」と1年間の活動を振り返り、「この経験研究などによって国際感覚豊かなグローバルリーダーの育成に取り組んでいる。抱負を語った。